

# 活動報告書 (2014. 1～2015. 3) 【エコユニット】

## — エコユニット情報 —

ユニット名	エコてく。KCT		ユニットNo.	10010030
構成人数	全体(※1)	18	内エコピープル	
母体となる組織	企業(団体)名	株式会社ナレッジクリエーションテクノロジー		
	資本金	1,000 万円	従業員数	18
	事業概要	情報通信サービス業		
	E-mail	info@jpkct.com		
HP	URL	http://www.jpkct.com/		

<b>★活動(1)</b> ©2014年1月～2015年3月に行った環境活動
<活動名称・タイトル> 福島被災地復興支援
<活動の時期・期間> 平成26年11月28日(金)から11月29日(土)の2日間
<活動内容> 東京商工会議所が主催している被災地支援のボランティア活動に参加(弊社からは3人の参加) 活動内容は、瓦礫やごみの再分別、震災後に野放しになった牛や豚によって荒らされた民家の柵の撤去、不要となったビニールハウスの5棟の解体作業、チェーンソー、草刈機を使っての樹木の伐採などを行った。
<期待する活動の成果や効果> 今回の活動は、当社にとって活動内容以上に、震災についてあらためて考えるきっかけとなった。震災の記憶が風化されつつあると感じていたため、参加社員及び当社にとって、今後の業務や社内貢献活動について、再考させられるすごくよい体験であった。
<現状の課題とその解決に向けた今後の取り組みについて> 被災地の現状として、復興とは程遠い現状があり、震災前の状態に戻すのは、多くの人の助けが必要であると感じた。今後の取り組みとしては、震災の記憶を風化させず、会社でできること、個人でできることを考えながら、できるだけ現地に足を運ぶように努めること、都内にいて貢献できることを実践してゆくことが大事だと感じた。
<参照するHP> <a href="http://www.tokyo-cci.or.jp/page.jsp?id=41718">http://www.tokyo-cci.or.jp/page.jsp?id=41718</a>

<b>活動(2)</b> ©2014年1月～2015年3月に行った環境活動
<活動名称・タイトル> 湘南海岸林保全活動
<活動の時期・期間> 2014年9月27日(土) 9時50分～15時30分
<活動内容> 参加人数:9人 活動内容:海岸林内の整備(除草、下草刈りなど)、砂浜教室(砂草の観察、調査など)

<p>&lt;期待する活動の成果や効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロマツや常緑広葉樹の成長の促進</li> <li>・ボランティア意識の向上</li> <li>・環境保全活動への意識の向上</li> <li>・海岸からの飛砂や塩害の被害より湘南の街を守る</li> </ul>
<p>&lt;現状の課題とその解決に向けた今後の取り組みについて&gt;</p> <p>現在防風林は人の手で定期的に入入れを行うことにより健康な状態に保たれている。しかし、資金不足や人手不足により十分な手入れが行き届かなくなった場合、湘南の街が塩害や飛砂をうけてしまう。そのため、継続的な保全活動を行う必要がある。また、現状参加人数はそれほど多くないので、最も多くの社員が参加できる日を調整する必要がある。</p>
<p>&lt;参照するHP&gt;</p> <p><a href="http://www.n-gec.org/news/detail.php?id=101">http://www.n-gec.org/news/detail.php?id=101</a></p>

<p><b>活動(3)</b> ◎2014年1月～2015年3月に行った環境活動</p>
<p>&lt;活動名称・タイトル&gt;</p> <p>語り部の活動 (特定非営利活動法人 地球緑化センター(エコ語り部チーム)の活動)</p>
<p>&lt;活動の時期・期間&gt;</p> <p>2011年10月～現在</p>
<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>当社エコ活動のチーム「エコてく。」の参加メンバーが、地球緑化センターのエコ語り部チームに参加、支援を継続的に行っていきます。</p> <p>参加人数:7人</p> <p>活動内容: 以下 2014年度の活動実績一部抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もりもりフェスティバル2014</li> </ul> <p>場所: 中央区立環境情報センター</p> <p>日時: 8/9(土)、10(日) 13:00～15:00</p> <p>環境紙芝居の上演</p> <p>当社からは、9日:3名、10日:1名</p>
<p>&lt;期待する活動の成果や効果&gt;</p> <p>企業、学校、NPO、地域コミュニティとの協働による継続的な環境教育を通じた地域社会への貢献と、社員一人ひとりが会社生活とは異なる形で社会とのつながりを持ち、社会的な課題への関心を高めていくことを目的としています。</p>
<p>&lt;現状の課題とその解決に向けた今後の取り組みについて&gt;</p> <p>休日などを使用した地域ボランティアとなり、任意参加のため参加者数が一定にならず、参加者が集まりにくい回もある。このため、会社としても、参加しやすい環境づくりなど検討していく必要がある。</p>
<p>&lt;参照するHP&gt;</p> <p><a href="http://www.gakkou-no-mori.org/houkoku01.pdf">http://www.gakkou-no-mori.org/houkoku01.pdf</a></p> <p><a href="http://eic-chuo.jp/event/1645">http://eic-chuo.jp/event/1645</a></p>

<p><b>活動(4)</b> ◎2014年1月～2015年3月に行った環境活動</p>
<p>&lt;活動名称・タイトル&gt;</p> <p>オフィスのエコ活動</p>
<p>&lt;活動の時期・期間&gt;</p> <p>2014年1月～現在</p>
<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>クリーンオフィス、グリーンオフィスを社員一人ひとりが実践する。活動内容は、以下の通り。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社メンバーによる、ペーパーレス化の実施。</li> <li>・紙コップを使用しない。</li> <li>・コピー用紙を使用しないで、PDF 化。</li> <li>・使用したコピー用紙の再利用。</li> <li>・観葉植物設置(職場内緑化)。</li> <li>・離籍時の PCOFF 対応(節電)。</li> </ul>
<p>&lt;期待する活動の成果や効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙使用量の削減(森林伐採削減)</li> <li>・消費電力の削減(発電量減少)</li> <li>・目の保養</li> </ul>
<p>&lt;参照するHP&gt;</p>

<p><b>活動【指定テーマ】</b></p>	
<p>&lt;活動名称・タイトル&gt;</p> <p style="text-align: center;"><b>エコピーパーを増やすための活動（eco検定普及活動）</b></p>	
<p>&lt;活動の時期・期間&gt;</p> <p>エコピーパー活動(加入時期)から継続的に実施</p>	
<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>当社エコ活動のチーム「エコてく。」の参加メンバーは、2015年4月時点で15名になります。メンバーは、eco検定を含む環境に関連する資格試験の取得による、環境学習を積極的に行えるよう、該当資格の取得に補助や人事考課のプラス評価などの仕組みを取り入れ、「エコてく。」メンバーが主体的に向学心を持てるように取り組んでいる。(現在、5名がeco検定を合格)</p>	
<p>&lt;期待する活動の成果や効果&gt;</p> <p>環境に関する知識の醸成と、そこから当社の掲げるエコ活動への動機づけと日常生活におけるエコへの意識の向上とエコエバンジェリストとなることを期待している。</p>	
<p>&lt;現状の課題とその解決に向けた今後の取り組みについて&gt;</p> <p>資格試験取得者が活動メンバーに対し低い状況である。資格取得しやすい環境作りが、会社全体で行われる必要がある。</p>	
<p>&lt;参照するHP&gt;</p>	

<p><b>★来年の計画や活動テーマ</b></p> <p>上記活動を継続的に行うとともに、1.地域ボランティア(貢献する) 2.環境に関する教育(広める) 3.環境に関する知識の醸成(学ぶ) 4.グリーンオフィスを推進(実践する) 5.個人で実践する の5つの活動分野を深化させ、特に地域ボランティアでは、社員参加型の活動(珊瑚苗作り活動)など、社員の環境活動への動機づけや気付きなどを醸成してゆく。</p>
---